

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

一 「住めば、北区東京」選ばれる「まち」になるために

(一) 魅力ある地域社会を

SDGs (エスディーズ) によって実現する
取り組みについて

ア 学校給食費無償化の実現に向けた意気込みと
効果について

【要旨】

今年三月統一地方選に向けて、公明党議員団と花川区長との間で政策協定を結び、花川区政の五期目がスタートを切った。今定例会に上程されている補正予算の中で、学校給食費無償化システム開発経費が計上されている。SDGsの目標の一「貧困をなくそう」や目標の二「飢餓をゼロに」ターゲットにもつながるものと思う。改めて、学校給食費無償化の実現に臨む意気込みとその効果について問う。

大島 実	公明	代表	二
------	----	----	---

一(一)ア

はじめに、「住めば、北区東京」選ばれる「まち」になるために、のご質問に、順次お答えします。

まず、魅力ある地域社会をSDGs(エスディージーズ)によつて実現する取り組みについてです。

はじめに、学校給食費無償化の実現に向けた意気込みと効果について お答えします。

私は、区長五期目に向け、これまでの取り組みの充実はもとより、子育てや教育にさらに力を入れて取り組む決意をし、その実現に向けた方策の一つとして、小中学校の給食費など保護者負担の軽減に取り組むことを公約の中でお約束しました。

区長五期目のスタートと同時に、教育委員会とも連携し、公約の早期実現に向けた検討に着手し、

【後頁へ続く】

大島 実	公明	代表	二
------	----	----	---

【前頁より続く】

今定例会の補正予算に、
学校給食費無償化システムの開発経費を
計上させていただきました。

一年ほどお時間をいただきますが、

令和二年十月の実施に向け万全な準備を進め
二十三区の中でもトップレベルの学校給食費保護者
負担の軽減を実現し、安心して子育てのできる
環境の充実を図り、子育て中の保護者の方が

「子育てするなら北区が一番」

「教育先進都市・北区」をより一層強く

実感していただけるよう取り組みを進めてまいります。

あわせてこうした取り組みをはじめ北区の

子育て施策の充実度を区内外に発信し、

子育てファミリー層・若年層の定住化を進め、

未来に向け活力ある北区、

持続可能な北区を実現してまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

一 「住めば、北区東京」選ばれる
「まち」になるために

(一) 魅力ある地域社会を

SDGs (エスディー・ジーズ) によって実現する

取り組みについて

イ 「ジャパンSDGs (エスディー・ジーズ) アワード」
について

【要旨】

現在、政府においてSDGsの裾野拡大のために、先進的な取り組みを行う自治体として六十の自治体が「SDGs未来都市」に選定されるなどその普及に力を入れている。普及事業の一つに「ジャパンSDGsアワード」も創設されている。北九州市や北海道下川町や江東区立八名川小学校などが受賞している。北区も「ジャパンSDGsアワード」に公募してはどうか。積極的な答弁を期待する。

大島 実	公明	代表	二
------	----	----	---

一(一)イ

次に、ジャパンSDGs（エスディージーズ）アワードについてです。

ジャパンSDGs（エスディージーズ）アワードは、企業や団体等の活動を後押しする観点から、

国の推進本部が

平成二十九年度に創設したもので、

現在三回目の公募が行われています。

アワードでは、普遍性、包摂性（ほうせつせい）、参画型、統合性、透明性と説明責任の五つの評価基準から

審査が行われ、優れた取組みが表彰対象となります。

ご紹介の北九州市、北海道下川町（しもかわちょう）は、第一回目に受賞し、

様々な場面でその取組みが発信され、先進的な事例としての評価はもとより、自治体の認知度の向上にもつながるなど、

【後頁へ続く】

大島 実	公明	代表	二
------	----	----	---

【前頁より続く】

アワードの受賞は、シテイプロモーションの点からも大変有意義なものと認識しています。

北区においては、現在策定中の

新たな基本計画において、SDGs（エスディーズ）

の観点も勘案し、事業の構築に努め、

十七の目標と新基本計画の基本施策との関係性を

整理してまいりますので、

その中で、応募についても、検討してまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

一 「住めば、北区東京」選ばれる
「まち」になるために

(一) 魅力ある地域社会を

SDGs (エスディーズ) によって実現する

取り組みについて

ウ(ア) SDGsの理念の啓発について

【要旨】

「誰一人置き去りにしない社会の実現」などを理念に掲げるSDGs。この認知度は、中小企業においても十五・八%、また、電通の「SDGs生活調査」によるとSDGsという言葉を知らない人の割合は、八十四パーセントという調査結果がある。この傾向から推測すると北区民、企業・団体の中でもSDGsの認知度は高いとは言えないだろう。今後のSDGsの理念の啓発並びに周知についてどのように進めて行く考えか。

大島 実	公明	代表	二
------	----	----	---

一(一)ウ(ア)

次に、SDGs (エスディージーズ) の理念の啓発についてです。

日本における認知度につきましては、

各種調査結果や

新聞報道等からも決して高くない状況であり、

SDGs (エスディージーズ) という言葉や

その意味の理解啓発は、どの自治体においても課題の一つであると認識しています。

北区といたしましては、新たな基本計画策定を機に計画内容の周知とともに、

区の施策との関連性を区民の皆さまにも

わかりやすくお伝えすることから、始めてまいります。

あわせて、一層の理解啓発のためにも、

区内の各種団体や企業等との連携の可能性も探り

北区におけるSDGs (エスディージーズ)

の推進につなげていきたいと考えています。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

― “住めば、北区東京。” 選ばれる「まち」になるために

(一) 魅力ある地域社会をSDGsによって実現する取り組みについて

ウ「誰一人も置き去りにしない社会の実現」などを理念に掲げるSDGsの啓発と周知について
(イ) 教育現場での取り組みについて

【要旨】

SDGsの教育現場での取り組みについて、
どのようなプログラムを用意し、
次代を担うリーダーを育成するのか、
その対応と課題について伺う。

【用語解説】

○SDGs・・・二〇一五年九月、全国連加盟国(百九十三国)は、より良き将来を実現するために今後十五年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ二〇三〇」を採択。この計画が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」である。
○アジェンダ・・・行動計画のこと

大島 実

公明

代表

二

一(一)ウ(イ)

私からは、魅力ある地域社会を

SDGs(エス・ディ・ジーズ)によつて

実現する取り組みについてのうち、

教育現場での取り組みについてお答えします。

北区立小・中学校においては、

SDGsの推進に求められるとおり、

次代を担う子どもたちに対して

幼稚園・こども園から中学校までの

あらゆる段階において

教育先進都市として質の高い教育を行うことを

大切にしています。

また、今年度策定中の

「北区教育ビジョン2020」においても、

取り組むべきものと位置付けることを

検討しています。

【後項に続く】

大島 実

公明

代表

二

【前項から続く】

現在、区立小・中学校では、主に社会科や道徳科、総合的な学習の時間、特別活動などにおける主体的・対話的で深い学びを通して、SDGsの具体的な内容である、環境や人権、国際理解教育、オリンピック・パラリンピック教育等を推進しています。

今後は、児童・生徒に確かな学力を確実に身に付けさせ、高度情報化社会で活躍できるよう、理数教育や海洋教育、プログラミング教育等の推進とともに中学校生徒海外交流事業や東京国際フランス学園との交流をはじめとする国際理解教育等を推進し、

【後項に続く】

大島 実

公明

代表

二

【前項から続く】

SDGsの考え方や、十七の目標内容を意識した教育活動の充実を図ってまいります。

また、先進事例を紹介するなど

教員への研修を行い、

意識の啓発と教育活動の充実につなげていきます。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

一 “住めば、北区⇨東京。”に選ばれる

「まち」になるために

(一) 魅力ある地域社会をSDGsによって

実現する取り組みについて

エ 「女性活躍支援の取り組み」についての課題や
支援の在り方を問う

【要旨】

「SDGsアクションプラン二〇一九」で、SDG
Sの担い手としての女性のエンパワーメントの実現が、
何よりも重要であり、貧困や飢餓を撲滅し、健康促進
や不平等、女性への暴力に取り組む方法を見出すため
の前提条件となっている。

「女性のエンパワーメントの実現」に向け、北区の
女性活躍支援の取り組みについて、課題と支援の在り
方について問う。

大島 実

公 明

代 表

二

一 (一) エ

次に、女性活躍支援の取り組みについての課題と支援の在り方についてお答えします。

区は、第五次アゼリアプランの中間見直しにおいて、女性活躍推進計画を内包させることとし、これに基づき施策を推進しています。

具体的には「女性の活躍推進応援塾」として、女性のキャリアアップ支援や再就職・起業支援、セクハラ・パワハラ等の

女性活躍を阻むハラスメントの防止に向けた普及啓発などを実施しています。

現在、北区では第六次アゼリアプランの策定を進めておりますが、男女共同参画審議会からの

「第六次アゼリアプラン策定のための提言」では、性差別意識に根付いた配偶者等への暴力が未だに根絶されていないことや、働く場や

(後頁へ続く)

大島 実

公明

代表

二

(前頁から続く)

政策・方針決定の場での女性参画が進んでおらず、
固定的性別役割分担意識が根強く残り、
女性の活躍を妨げる要因になっていると指摘しており、
課題は多いと認識しています。

女性があらゆる分野で活躍する社会の実現には、
女性の能力が発揮され、
自分らしく人生を過ごすことができるよう、
より一層の環境整備が必要であると認識しており、
改定中の第六次アゼリアプランに改めて位置づけ、
引き続き女性活躍のための施策を推進してまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

- 一 「住めば、北区東京」 選ばれる「まち」になるために
- (二) シティプロモーションについて

ア 北区シティプロモーションの展開について

【要旨】

渋沢栄一翁の新一万円札への肖像採用が決定して以来、区内外で盛り上がりを見せている。この機を、北区シティプロモーションの全面展開に絶好の機会ととらえ、以下四つを提案するが、区の見解は。

- 一、シティプロモーションの推進組織を早急に立ち上げること。
- 二、仮称「シティプロモーション推進戦略ビジョン」を至急策定すること。
- 三、シティプロモーションの目標を示すこと。
- 四、マーケティングを実施し、ターゲットを明確にすること。

大島 実	公 明	代 表	二
------	-----	-----	---

一(二)ア

つぎに、シテイプロモーションにかんする質問にお答えします。

まず、北区におけるシテイプロモーションの展開についてです。

現在北区では、

知名度とイメージを高めることを目指した

「北区イメージ戦略ビジョン・KISS（キス）

第二次行動計画」とあわせて、

区民が地域への愛着と誇りを持つとともに、

子育てファミリー層と若年層の定住化促進を目指した

「北区シテイプロモーション方針」に基づいた

様々な取組みを推進しております。

「北区シテイプロモーション方針」では、

北区のすべての区民と、通勤通学圏内の概ね

二十代から四十代の子育てファミリー層・若年層を

【次頁に続く】

大島 実	公 明	代 表	二
------	-----	-----	---

【前頁から続く】

ターゲットに設定し、

今年度までを集中的な取組期間に位置づける一方で

「KISS（キス）第二次行動計画」は、

首都圏のファミリー層、若年層をターゲットとして

概ね二十二十一年度を見据えた計画としています。

こうしたなかで、新元号「令和」のはじまりと

時を同じくしての、渋沢翁の新紙幣採用の決定は、

これからの北区において

新たなシテイプロモーションを推進していく上での

大きな魅力になるものと認識しております。

つきましては、これまでの取組みの総括とともに、

「令和」の新しい流れを踏まえて、

新たなシテイプロモーション方針について

二十二十一年度の策定にむけた

検討を進めてまいります。

【次頁に続く】

大 島 実	公 明	代 表	二
-------	-----	-----	---

【前頁から続く】

その際には、シテイプロモーシヨンの目標やターゲットについても、改めて議論し、

「北区ブランド」の向上に繋がる

方針としてまいります。

なお、シテイプロモーシヨンの推進には

横断的な取組みも多いため、所管する組織を超えて

庁内が一丸となって取り組んでいく必要があります、

現在推進している

「北区渋沢栄一プロジェクト」におきましても

全庁的な取組みを行っております。

組織のあり方につきましては、

新しい方針の策定とあわせまして、

他の自治体の組織のあり方なども参考にしながら、

シテイプロモーシヨンの強力な推進を可能とする

組織の設置を検討してまいります。

大島 実	公 明	代 表	二
(質問の事項及び要旨)			
<p>一 「住めば、北区東京」選ばれる「まち」になるために</p> <p>(二) シティプロモーションについて</p> <p>イ 六者による包括連携協定について</p>			
【要旨】			
<p>八月二十七日、北区は、東京商工会議所、埼玉県深谷市、渋沢栄一記念財団、深谷商工会議所、ふかや市商工会と「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」を締結した。</p>			
<p>協定項目のうち「渋沢栄一の精神の普及啓発」について、学校教育や生涯学習をイメージしているかと思うが、シビックプライドの醸成にどう繋がるのか。</p> <p>また、「ドラマ等のメディア誘致」について、今後どのように展開していくのか。</p>			

大島	実	公明	代表	二
----	---	----	----	---

一(二)イ

次に、

「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」にかんするご質問について、お答えします。

まず、「渋沢栄一」の精神の普及啓発」についてです。近代日本の経済社会の礎（いしずえ）を築いた渋沢翁の思想や経営哲学は、

現在にあっても色褪せることなく、今の時代にこそ学ぶことが多いものと認識しております。

渋沢翁が人生の拠点とした北区において児童・生徒が学校教育の授業等を通して、

また、区民の皆さんが社会教育の講座等を通して、その生い立ちや功績、さらに思想について学ぶことは、シテイプロモーションの担い手として、

北区を愛し、北区に育ち、北区で暮らすことを誇りに思う気持ちを育むことに繋がるものと思います。

【次頁に続く】

大島

実

公明

代表

二

【前頁から続く】

そのため、包括連携協定に基づいて、

六者それぞれが持つ資源を

様々な学びへと繋げていくことは、

大変意義があるものと認識しております。

次に、「ドラマ等のメディア誘致」についてです。

ドラマの誘致にあたっては、

北区単独で行うよりも、

関係する複数の自治体や団体から構成する

組織体を構築して、活動を展開していくことが

より効果的であると考えております。

今後、包括連携協定を締結した六者で

推進体制や具体的な活動内容を検討したうえで

メディア誘致を進めてまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

二「人生百年時代」の高齢者施策のあり方について

(一) 六十五歳以上を高齢者とする定義の見直しについて

【要旨】

松本市では市民に七十五歳以上を高齢者と呼ぶことを周知し元気高齢者を応援しており、長野市長と共同宣言し、県外の自治体への働きかけもしている。

花川区長からも「七十五歳以上を高齢者と呼びましょう！」との北区宣言を全国に発信してほしい。区の見解を伺う。

また、六十五歳以上を高齢者とする定義を見直す意義について区の見解を伺う。

大 島 実

公 明

代 表

二

二(一)

次に「人生百年時代」の高齢者施策のあり方についてです。

はじめに、六十五歳以上を高齢者とする定義の見直しについてです。

国連の世界保健機関（WHO（ダブルエイチオー））の定義では、六十五歳以上の人を高齢者としています。

六十五歳から七十四歳を前期高齢者、七十五歳以上を後期高齢者と呼び、

介護や医療が必要となる割合が多い後期高齢者が、北区では高齢者の半数以上を占めています。

しかし、年齢を重ねると状態は人それぞれで、年齢で区切れないことが多くあります。

年齢を意識せず、生涯現役、誰もが自分らしく輝き、活躍できる社会の実現を目指してまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

二「人生百年時代」の高齢者施策のあり方について
(一)老人いきいの家の役割と機能の見直しについて
ア「老人いきいの家」の名称変更について
イ 入浴事業について、高齢者ヘルシー入浴事業を
拡充するなど、他施策への統合を求めたいが区の見
解を聞く
ウ 老人いきいの家に通うことのエビデンスを示し
施策の効果を見える化することが大事ではないか
エ いこいの家の、浴場、娯楽室、休養室などの施
設形態が元気高齢者の阻害要因となっているのでは
ないか
オ 老人いきいの家を若者世代も利用できるよう、
また、高齢者就労の相談・情報提供ができるような
複合的機能を持たせた施設に転換することについて、
区の見解を問う

大 島 実

公 明

代 表

二

二(二) アイウエオ

次に、老人いこいの家の役割と機能の見直しについてです。

老人いこいの家は六十歳以上の方を対象にしており、いこいの場を提供することにより

福祉の増進を図るため、浴場や娯楽施設を設け、教養の向上及びレクリエーション事業を行っています。

入浴事業については、利用状況を考慮しながら検討が必要だと考えています。

高齢者の現状や社会情勢が大きく変化しており、老人いこいの家の事業については

現在、区が進めている介護予防や閉じこもり防止の取組に資するよう見直しが必要だと認識しております。

活動の場、交流拠点に参加し役割をもつことが元気の秘訣といわれています。施策の効果を確認し、いこいの家が自主的活動や交流拠点となるよう

(後頁へ続く)

大島 実	公明	代 表	二
------	----	-----	---

(前頁から続く)

事業の見直しをすすめてまいります。

高齢者の活動拠点としてどのような機能を

付加するか、多世代利用や高齢者就労への取組など、

見直しにあたっては

「老人いこいの家」という名称も含めて

検討を進めてまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

- 二 「人生百年時代」の高齢者施策の在り方について
- (三) 孤立生活の解消に向けて、8050問題の
取り組みについて

【要旨】

今年三月に内閣府は、ひきこもり状態の四十歳から六十四歳の人が全国に六十一万三千人いるという調査結果を公表した。

北区でも対象者を把握する調査を実施し、必要な支援に繋げていくべきと考えるが、区の見解はどうか。

また、調査の実施にあたっては、足立区が実施した「孤立ゼロプロジェクト高齢者実態調査」の取り組みが参考になると思われるが、区の見解はどうか。

大 島 実

公 明

代 表

二

二(三)

次に、孤立生活の解消に向けての取り組みについてです。

現在、区内三か所の健康支援センターでは、ひきこもりの相談を地区担当保健師が受け付け、医療機関、東京都ひきこもりサポートネット、高齢者あんしんセンターなどをご案内しながらひきこもりの解消に取り組んでいます。

今後も 東京都や関係機関と緊密に連携を図り、ご本人や家族に対して支援をまいります。

実態調査の実施につきましては、支援が必要な方を把握する効果的な取り組みと認識していますが、

ご紹介の足立区や他自治体の取り組みも参考にしながら

調査手法や実施体制の整備などの課題を研究してまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

二「人生百年時代」の高齢者施策のあり方について

(四)シルバー人材センターの機能拡大と支援強化について

ア シルバー人材センターの派遣事業の機能拡大と自立できる支援強化について区の取組と見解は

イ 高齢者就労について健康増進センターの役割再構築と併せて進めることについて、具体的にどのような役割を与えシルバー人材センターとのすみわけがなされるのか

大 島 実

公 明

代 表

二

二(四) アイ

次にシルバー人材センターの機能拡大と支援強化についてです。

シルバー人材センターでは

高齢者の就業機会の確保と生きがい・社会参加や健康維持に貢献できるよう、
様々な事業に取り組んでいます。

介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業の事業者として、多くの会員が研修を受講し、事業は着実に拡大していると認識しています。

平成三十年度からは

労働者派遣事業を開始しましたが、
受注には結びついていないと聞いています。
引き続き区として、広報活動への協力や
情報提供など積極的に支援してまいります。

(後頁へ続く)

大 島 実

公 明

代 表

二

(前頁から続く)

高齢者就労の新しい取り組みとして

準備を進めている、いきがい活動センターについては、

「就労」と「社会参加」につながる

いきがいがづくりをすすめるための

ワンストップ窓口を設け、

相談と学びの機能を充実させてまいります。

就労・就業の場であるシルバー人材センターと

連携しながら事業を進めてまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

三 安心・快適な地域コミュニティの推進のために

(一) 飼い主のいない猫対策について

ア、飼い主のいない猫対策緊急促進事業の実施を

イ、推進協議会の設置と推進計画の実施を

【要旨】

東京都は平成三十一年度「飼い主のいない猫対策緊急促進事業」を策定し実施している。これは、飼い主のいない猫を増やさない各種対策を地域住民等の理解と協力を得て実地し、地域の衛生環境確保との両立を図る目的で策定された。

内容は、①推進協議会の設置、②推進計画の策定、③推進協力員の登録、④住民向け説明会の開催、⑤不妊去勢手術の実施、⑥アンケート調査・実態調査、⑦事業評価、報告書の作成、⑧普及啓発等を総合的に実地する事業である。北区では、この内三項目しか実施しておらず、都の補助金を受けられない状況にある。北区でも「飼い主のいない猫対策緊急促進事業」の補助金を受け、飼い主のいない猫対策を実施すべきである。

大島 実

公 明

代 表

二

三(一)ア・イ

次に、飼い主のいない猫対策についてお答えします。

飼い主のいない猫対策の取り組みについては、

致死処分数や猫に関する苦情を減少させるためには、

みだりに繁殖させず、

飼い主のいない猫を増やさない

各種対策を図るとともに、

地域の衛生環境を確保することが極めて重要です。

このため、北区では、

猫の愛護団体や獣医師会等と連携し、

不妊去勢(きよせい)手術による猫の増加を抑制しながら

餌(えさ)やりや糞尿の適正管理の

普及啓発を行うことで

周辺の良い環境の維持に努めています。

今後、飼い主のいない猫にかんする問題について、

さらに対策を進めていくためには、

【後頁へ続く】

大島 実

公 明

代 表

二

【前頁から続く】

地域の皆さんや町会・自治会に、

地域の身近な問題として捉えて頂くとともに、

様々なボランティア団体や関係団体と行政が、

緊密に連携協力しながら課題解決に取り組むことが

重要であると考えています。

このため、ご提案の総合対策への取り組みに向け、

関係する皆さまが、

基本的な認識を共有する連絡会等を設置することや、

ボランティア団体などと連携強化を図ることにより、

その土台づくりに努めてまいります。

大島 実

公明

代表

二

(質問の事項及び要旨)

三 安心・快適な地域コミュニティの推進のために

(二) 見守り連携協定の推進について

ア、スクールガードリーダーについて

【要旨】

新聞報道によると、文部科学省は、登下校時の安全対策として、見守り活動の指導役を務める「スクールガードリーダー」を大幅に増員する方針を決めた。

スクールガードリーダーとは、どのような立場の方で、北区で採用する際、どのような課題があるのか、今後の取り組みについて伺う。

三(二)ア

次に、安心・快適な地域コミュニティの推進のためにのうち、見守り連携協定の推進についてのスクールガードリーダーについてご質問にお答えします。

北区教育委員会では、子どもの登下校時の安全確保策として、通学路への児童交通指導員の配置や学校支援ボランティアによる見守り活動を実施しております。

スクールガードリーダーとは、警察官OB（おーびー）等が各学校を巡回し、警備のポイント等の指導や学校や通学路で子どもたちを見守るボランティアの養成研修等を行う人材であると認識しております。区では、現在、警察官OBである防犯推進員が、広く区民に対して防犯出前講座や

【後頁に続く】

【前頁から続く】

防犯団体へ効果的なパトロール方法等について、
助言・指導を実施しており、別途、警察官OB等を
スクールガードリーダーとして、
確保をすることが難しいと考えております。

今後につきましては、
国の児童見守り支援強化策を注視しつつ、
スクールガードリーダーの役割を防犯推進員が
兼任することも含め、
スクールガードリーダーの配置について
区長部局とともに研究を行ってまいります。

大島 実

公明

代表

二

三 安心・快適な地域コミュニティの推進のために

(一) 見守り連携協定の推進について

イ、区内企業による、通勤途上等「ながら見守り」の拡大

ウ、子どもの見守りを行う区民への啓発活動

エ、タクシー事業者との「ながら見守り協定」

締結

【要旨】

区では、平成二十九年に区内の信用金庫、郵便局と

「北区ながら見守り活動に関する協定」を締結した。

子ども達を守る抑止力を高めるため「まちの見守り体制」をより充実、強化することが大事である。

「ながら見守り」の拡大について、3点（イウエ）提案するが如何か。

大島 実

公 明

代 表

二

三(二) イウエ

次に、「ながら見守り」の裾野(すその)拡大にかんする
ご質問にお答えします。

区では、「地域の子どもは地域で守る」
という自主防犯意識のもと、

区民・関係団体・事業者等の連携による
「ながら見守り」などの子ども見守り活動を
推進してまいりました。

ご提案の区内企業による「ながら見守り」や
「ながら見守り」を行う区民への啓発活動については、
子どもの見守りにおいて、
重要な課題であると認識しておりますので、
引き続き、事業の推進を図ってまいります。

(後頁に続く)

大島 実

公 明

代 表

二

(前頁から続く)

また、車両に搭載(とうざい)されている

ドライブ・レコーダーにより、事故の検証や

犯人の早期検挙などにつながるケースがあることから、その有用性が高まっています。

ご提案の区内のタクシー会社等との協定は

「ながら見守り」にかんして有効であることから、

現在改定作業中の「北区生活安全推進プラン」

において拡充すべき事業として検討してまいります。

今後、区民・関係団体・事業者等と連携しながら、

「ながら見守り」の裾野拡大を図るなど、

子どもの安全に向けた取り組みに努めてまいります。

大島 実

公明

代 表

二

(質問の事項及び要旨)

- 三 安心・快適な地域コミュニティの推進のために
 (三) コミュニティアリーナにエアコン設置の推進

【要旨】

今年度から二ヶ年の予定で、小中学校体育館に
 エアコンが設置されるが、元中学校体育館である
 コミュニティアリーナは設置対象になっていない。
 一日も早く、二ヶ所のコミュニティアリーナに
 エアコン設置を望むが、区の見解は。

大 島 実

公 明

代 表

二

三 (三)

最後に、コミュニティアリーナへのエアコン設置の推進についてです。

コミュニティアリーナは、中学校体育館を改修し、スポーツや文化芸術、健康づくりなど多目的に利用できる施設であるとともに、災害時の避難所として指定されています。

現在、コミュニティアリーナにおいて空調設備が設置されていない施設では、暑さ対策として、大型扇風機やスポットクーラーを導入しています。

熱中症対策や避難所機能の充実など空調設備の必要性は十分認識しており、早期の設置に向けて検討してまいります。